

公民科

教科名	公 民	科目名	政治・経済
科目の目標	(1) 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。 (2) それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。		
履修学年	3年	類型	文系
単位数	2単位	履修形態	選択履修
教科書	政治・経済(東京書籍)	副教材等	政治・経済資料2020(とうほう),4ステージ演習ノート(数研出版)

① 学習の目標…旭東DPのうち特に(認知力、共感力、探究力、創造力)を育成する。

- (1) 政治・経済は、現代の政治、経済のしくみの成立過程と未来へ向けたあるべき姿を模索する科目です。そのため、構造理解のために必要な客観的に政治経済のしくみを認知する力を養います。
- (2) また、認知のための、現代社会に対する共感力を育み、課題を見いだす探究力、そして、未来の社会に対するあるべき姿を提案する創造力を養います。
- (3) 旭東DPのうち認知力、共感力、探究力、創造力の各項目における達成評価表に基づく自己評価がA段階に達するものが90%以上となることを目指します。

② 学習内容と授業の進め方

- (1) 教科書の第1章 第2章を教科書の単元に沿って、副教材等で補足し学習していきます。第3章については、第1章・第2章の関連ある場所に組み込んで学習していきます。
- (2) 50分は、10分間のペア・グループワーク、35分間の要点の整理、5分間の振り返りを行います。要点整理では政治、経済の構造を適切に認知するために重要となる視点を整理していきます。
- (3) 特に、客観的な認知力を高めるためには、他者との見解の違いや共通点について認識することが重要となります。そのため、ペアやグループで対話する活動を積極的に取り入れます。

③ 学習に当たっての留意点

- (1) 大学入試共通テスト「倫理・政治経済」「政治・経済」受験に対応するためには、単なる用語や事項の暗記では不十分と考えられます。政治、経済における原理・原則の適切な認知を基礎とし、現代社会における多様な課題を考察するにあり、背景や改善のあり方等について多角的・多面的に探究することが必要です。また、探究することは本質的な理解にもつながります。「どのような状況で、何を目的に、何がなされたのか」という観点から「社会を認知する」訓練をしていきましょう。そのため、日頃からニュースを見る・新聞を読むなどして時事的問題・課題、多様なジャンルの書物を読むことや人の話を聞くなどし多様なものの見方や考え方をに共感する態度が重要です。
- (2) 「現代社会」及び地理歴史科における各科目内容との関連性を意識し、歴史的背景や地理的条件が政治、経済、国際関係に大きく影響を与えていることを理解すると効果的に学習できます。

④ 評価の観点…学習指導要領上の観点と重視する旭東DPの関係性。

力・態度	学習指導要領の観点	S(価値創造的)	A(問題解決的)	B(標準的)	C(要改善)
認知力	知識・理解【知】	社会事象を具体化・抽象化して捉えることができる。	社会事象を多面的な視点で捉えることができる。	社会事象を主観と客観に分けて捉えることができる。	社会事象を主観で捉えることにとどまっている。
共感力	関心・意欲・態度【関】	他者や社会との関係性の中で、適切な自己の役割を見出そうとする。	自ら他者や社会と繋がろうとする。	他者の存在や社会の在り方を受け止めようとする。	自らの世界にとどまっている。
探究力	思考・判断・表現【思】 技能【技】	広げ・高め・深めるためさらに問い続けようとする。	自ら立てた問いに対し解決への道筋を探ろうとする。	自ら問いを立てようとする。	問いを与えられることにとどまっている。
創造力	関心・意欲・態度【関】	時代や社会の変動を見据えて、複合的な視点から新たな価値を提案しようとする。	特定の社会背景の中で、複合的な視点から新たな価値を生み出そうとする。	現状の課題を認識し、自ら次の段階を切り拓こうとする。	現状の社会に流されている。

⑤ 評価の方法

上記の評価の観点を観点別に作成した定期考査と達成評価表に基づく自己評価によって評価します。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4 5 6	第1章 現代の政治		民主政治の基本原則について意欲的に探究し、望ましい政治の在り方と国民の政治参加の意義について考察できているか。【関】 【思】 現代の政治に関する事項に対し、有用なメディアを選択したり、資料を収集をしたりし、効果的な活用方法を身につけているか。【技】 民主政治の基本原則、日本国憲法の本格的性格、日本の政治機構についての知識を身につけているか。【知】
	1節 民主政治の基本原則	1 民主政治の成立 2 基本的人権の確立 3 現代の民主政治 4 世界のおもな政治体制	
	2節 日本国憲法の基本原則	1 日本国憲法の制定と基本原理 2 基本的人権の保障 3 平和主義	
	3節 日本の政治機構	1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治 前期中間考査	
	4節 現代政治の特質と課題	1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加	
9	5節 国際政治の動向	1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題 4 戦後国際関係の展開と日本 5 国際政治の課題 6 地球環境と資源・エネルギー問題 7 国際社会における日本の役割	国際政治に関わる基本的な概念や理論、現代の国際政治の特質や国際政治の諸要因に対する関心を高め、国際社会における日本の役割について考察できているか。【関】 【思】 国際政治に関わる社会の変化や立場を理解し、効果的な資料を用いながら知識として身につけているか。【技】【知】
10	第2章 現代の経済		現代の経済に関する基本的な概念や理論、現代の日本経済・国際経済の特徴について関心を持って取り組み、これからの日本経済の在り方を考察できているか。【関】 【思】 現代経済に関する資料・特にグラフの読み取りを正確に行い、そこから得られる具体的な課題について検証することができる。【技】 現代経済に関して、基本的事項を理解し、それを活用することで、現代経済の諸課題に関する解決策を考察することに利用できるか。【知】
	1節 現代の資本主義経済	1 資本主義体制の成立 2 資本主義経済の発展と変容 前期期末考査	
	2節 現代経済のしくみ	1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能 6 財政のしくみと機能	
	3節 日本経済の発展と産業構造の変化	1 経済再建から高度成長へ 2 オイルショック後の日本経済 3 日本経済の現状	
	4節 福祉社会と日本経済の課題	1 公害と環境保全 2 消費者問題 3 農業・食料問題 4 中小企業の現状と課題 5 雇用と労働問題 6 社会保障と福祉	
11	5節 国民経済と国際経済	1 貿易と国際収支 2 国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済 4 地域主義の動き 5 グローバル化する世界経済 後期中間考査	
12 1	総合演習 総合演習	センター試験へ向けた演習 問題演習	